

平成 25 (2013) 年度 ラテン・アメリカ政経学会総会 議事要録

議事に先立って、規約に定めら得た定足数を充足していることが確認され、石井章会員を議長に選出した。

1. 理事長から資料 1 のとおり平成 24 年度事業報告があり、承認した。
2. 高橋理事（会計担当）から資料 2 にもとづいて平成 24 年度会計報告を行った後、受田監事から会計処理が適正に行われていた旨監査報告があり、会計報告を承認した。
3. 理事長から、研究奨励賞規定の改正について、資料 3 にもとづいて提案があった。資料 3 で修正案の末尾にある「付則」は現状の方に記載すべき転記ミスを修正したうえで修正案を承認し、今回の改正の施行日は 2013 年 11 月 17 日とする。また、選考対象論文の発表日については、印刷発行されていなくても、採用通知が当年 12 月 31 日までに届いたものについては対象となることが確認された。
4. 非会員の大会聴講について、「非会員は大会聴講料を支払い、大会を聴講することができる。聴講料は大学院生・一般社会人は 1 0 0 0 円とし、学部学生は無料とする。」とする理事会案について理事長から説明があり、理事会案を承認し、来年度大会からこの方針を適用することとした。
5. 理事長から資料 5 に基づいて平成 25 年度事業計画の説明があり、原案どおり承認した。
6. 理事長から資料 6 に基づいて平成 25 年度予算の説明があり、原案どおり承認した。
7. 『ラテン・アメリカ論集』に掲載された論文と研究ノートの執筆者から希望があれば、抜き刷り 50 部を、学会で費用を負担して配分するという理事会案について理事長から説明があり、理事会案どおり決定した。
8. 7 月に実施された理事選挙で理事に選出された 6 名の会員（浜口伸明会員、幡谷則子会員、山崎圭一会員、久松佳彰会員、浦部浩之会員、高橋百合子会員）から推薦があった、村上勇介会員、坂口安紀会員、住田育法会員、受田宏之会員を理事に選出した（資料 7）。総会を中断して開催された新理事会において、以下のように次期の理事の役割分担が決定した旨、報告された。

○理事長（事務局、関西支部）	浜口伸明
○関東支部・関東部会	受田宏之
○関西部会	住田育法
○日本学術会議・地域研究学会連絡協議会担当	幡谷則子、久松佳彰
○学会誌編集委員会	山崎圭一、坂口安紀 村上勇介、浦部浩之
○会計	高橋百合子
9. 次期監事として、松井謙一郎会員と佐野聖香会員を選出した。
10. 理事長から、平成 26 (2014) 年度全国大会を神戸大学で開催することが提案され、提案

どおり承認した。

11. 審議に引き続き、理事会から以下のことについて報告があった。

- 1) 谷理事から、今年度、学会誌『ラテン・アメリカ論集』に、4名の会員から投稿希望があったが、うち1名が辞退し、3名の投稿論文が査読を経て採択され、依頼論文1本と書評を加えて、資料8の目次(案)のとおり刊行予定であるとの報告があった。
- 2) 小池理事から、50周年記念出版は資料9の構成案のとおり執筆依頼が行われていることと、複数の出版社から見積もりを取り寄せた結果、新評論との間で定価2,600円(税込2,730円)で販売し、会員配布用と広報用に合わせて200部を8掛けの価格で買い取る内容の覚書を締結したことについて報告があった。
- 3) 理事長から、前回総会以降、9名の会員が新たに加入し、1名が退会した結果、今総会時点の会員数は150名であると報告があった。逝去された佐野誠会員について宇佐見耕一会員から追悼の辞が述べられ、総会出席者による黙祷を捧げた。